

ねんりんピック茨城 2007 テニス交流大会 イベント出演団体募集

今年11月10日から4日間、「さわやかな 長寿の風を 茨城に」をテーマに「ねんりんピック茨城 2007」が茨城県で開催されます。筑西市はテニス交流大会の会場に指定され、全国の都道府県から約700人を超える選手や観客が来場する予定です。この機会にさまざまなイベントを通じて、地域や世代を超えた交流の輪を広げてみませんか！イベントに参加していただける団体を募集します。



●開催日時＝11月11日（日）、12日（月）

午前11時～午後2時

●会場＝県西総合公園特設ステージ

●出演内容＝音楽・ダンスなどの音楽文化芸能活動

●出演時間＝1団体あたり10分～15分程度

●参加費＝無料（交通費・機材運搬費などは各自負担となります。）

●申込方法＝所定の申込用紙に必要事項を記入し、5月11日（金）までに郵送またはFAXにてお申し込みください。

●問い合わせ・申込み＝高齢福祉課ねんりんピック推進室
TEL 24-2111（内線262）FAX 25-2401

※出演団体多数の場合は、抽選とさせていただきますのでご了承ください。イベント出演については、代表者に後日連絡します。

■ねんりんピックとは？

「ねんりんピック」とは、厚生労働省、開催地の自治体などが主催する60歳以上の高齢者を中心とした全国健康福祉祭の愛称で、スポーツ・文化・健康・福祉など、幅広いイベントが開催される一大祭典です。



第20回全国健康福祉祭いばらき大会

ねんりんピック茨城2007

平成19年11月10日（土）～13日（火）

今なぜ、男女共同参画社会なんでしょう

お父さん「今日はお父さんがご飯を作ったぞ。どうかな。」

お母さん「とてもおいしいわ。これからは男性も料理ぐらいできないとね。」

子ども「友達の家では、お母さんが作ってると言ってたよ。

やっぱりまだ女性の仕事なのかな？」

子ども「そうみたい。学校で習ったけど、男性や女性という性別に関係なく誰もが平等に生活できる社会を男女共同参画社会って言うんだって。知ってた？」

お母さん「もちろんよ。その社会が実現できれば、男性も家庭に協力できるし、女性も社会の中で自分の力を発揮することができるの。性別にこだわらないから誰もがもっと自由で生きやすいはずよ。」



このように、お互いの個性や能力で家事や仕事を分担し、協力しあっていきたいものです。

今回から男女共同参画に関するコーナーを設けました。

男女共同参画課（TEL 23-1600）

ひとひと男と女
すてきにハート

今月のおすすめ本



**べんけいと
おとみさん**
作＝石井 桃子
絵＝山脇 百合子
【福音館書店】



絵本クマのプーさん
ぶん＝A・A・ミルン
やく＝石井 桃子
え＝E.H.シェパード
【岩波書店】



せいめいのれきし
文・え＝バー ジニア・
リー・バートン
やく＝いしい ももこ
【岩波書店】

◆この3冊は、当館企画展『石井桃子
生誕百年記念展』で紹介している本で
す。石井桃子さんは、今年3月で百歳
を迎えられ、これまでに翻訳・編集し
た本は、300冊近くにのぼります。
『クマのプーさん』は、石井さんの
人生に大きな影響を与えた本で、その
感動を子どもたちにも出会ってもらい
たいと、書き始めたものの、『べんけい
とおとみさん』は、第二次世界大戦頃、
自給自足の生活をしたという思いを
表したものの、『せいめいのれきし』は、
『いしいももこやく』と書かれた数多
くの訳本の中の1冊です。皆さんも石
井桃子さんの世界を楽しんでください。

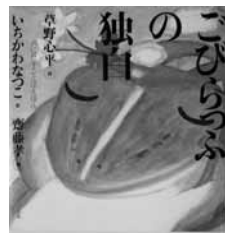
中央図書館

◆白黒なのに回転させると色が現れる
『ペンハムのコマ』や、色の組み合わせ
方、土を使った絵の具の作り方などが
書いてあります。シリーズの他の本に
は、色が見えるしくみの説明や文化に
よる色の違い、色名事典もあります。



**「色」の大研究
色であそぼう**
構成・文＝岩井真木
監修＝日本色彩研究所
【岩崎書店】

◆蛙の詩人、草野心平の詩の絵本。『る
てえるびるもれとりりがいく』とい
うふうで、全てカエル語で書かれてい
ます。何と言っているのでしょうか？
巻末には日本語訳も付いています。



ごびらっふの独白
詩＝草野心平
絵＝いしかわなつこ
編＝齋藤孝
【ほるぷ出版】



病気がわかる事典
監修＝山川達郎
【成美堂出版】

◆症状・病名の両方から引ける事典で
す。約1,400の病気について、受
診課、原因、症状、治療法が書いてあ
ります。体のしくみや応急手当ての方
法、漢方薬についての説明もあります。

明野図書館



★こどもの読書週間企画展
『石井桃子生誕100年記念展』

4月20日(金)～5月16日(水)
中央図書館1階力ウンター前
石井桃子の作品(翻訳本も含む)
を展示、貸出します。

★おはなし会(明野図書館・児童室)

①5月13日(日) 午後3時
絵本『ちびコリラのちびちび』『そ
らいろのたね』

②5月20日(日) 午後3時
絵本『まんまるねこダイナ』『ぼ
くんちカレーライス』

★赤ちゃん向け読み聞かせ

5月31日(木) 午後1時～3時
中央図書館・お話しコーナー
ブックスタート・スタッフが赤
ちゃん向け読み聞かせをします。

★学校訪問ブックトーク

中央図書館の職員が学校を訪れ、
本の紹介をします。

①5月上旬 河間小 テーマ『変身』
②5月上旬 中小 テーマ『変身』
③5月25日(金) 五所小 テーマ『生命
いのち』
④5月30日(水) 川島小 テーマ『ふしぎ』

中央 図書館

〒308-0826 筑西市下岡崎 1-11-1
TEL24-3530 FAX20-1008

▶開館時間＝午前10時～午後6時

▶休館日＝月曜日、日曜日以外の祝日、館内整
理日(第3木曜日)、年末年始、特別整理期間 ▶借りられる
資料＝図書1.0冊まで(2週間以内) 雑誌2冊まで(2週間
以内) CD、VT、3点まで(1週間以内)

明野 図書館

〒300-4517 筑西市海老ヶ島 2120-7

TEL52-2466 FAX52-4648

▶開館時間＝午前10時～午後6時

▶休館日＝月曜日、祝日、館内整理日(月末)、
年末年始、特別整理期間 ▶借りられる資料＝図書・雑誌無制
限(2週間以内) CD・カセット5点まで(2週間以内) V
T・DVD5点まで(1週間以内)

▶筑西市及び隣接市町村(桜川市、結城市、下妻市、つくば市の
旧筑波町地域)に住んでいる人…氏名と住所が確認できるもの(運
転免許証、学生証、保険証など)をご用意ください。▶筑西市に通勤・
通学している人…氏名と住所が確認できるものと、通勤・通学を
証明するもの(社員証、学生証など)の両方をご用意ください。

図書利用
カードを
作れるのは

ご存じですか？「後期高齢者医療制度」

●平成 20 年 4 月から後期高齢者の医療保険制度が変わります

平成 18 年 6 月の健康保険法等の改正にともない、平成 20 年 4 月 1 日から新たな「後期高齢者医療制度」が始まります。これにより、後期高齢者は現在加入している国保や社保（被扶養者を含みます）を脱退し、後期高齢者医療制度に加入することになります。対象となる方は次の人です。（現在の老人保健医療制度は後期高齢者医療制度に移行します。）

- ① 75 歳以上の人
- ② 65 歳以上 75 歳未満で、一定の障害を持ち、広域連合長が認めた人
※平成 20 年 4 月 1 日現在

●茨城県後期高齢者医療広域連合の設立

後期高齢者医療制度に関する事務を広域にわたり処理するため、県内のすべての市町村で組織する「茨城県後期高齢者医療広域連合」が設立されました。現在、後期高齢者医療制度施行に向けた準備に取り組んでおり、平成 19 年度中に必要な事項を決定していきます。

今後、高齢者医療制度の内容について随時紹介していきます。

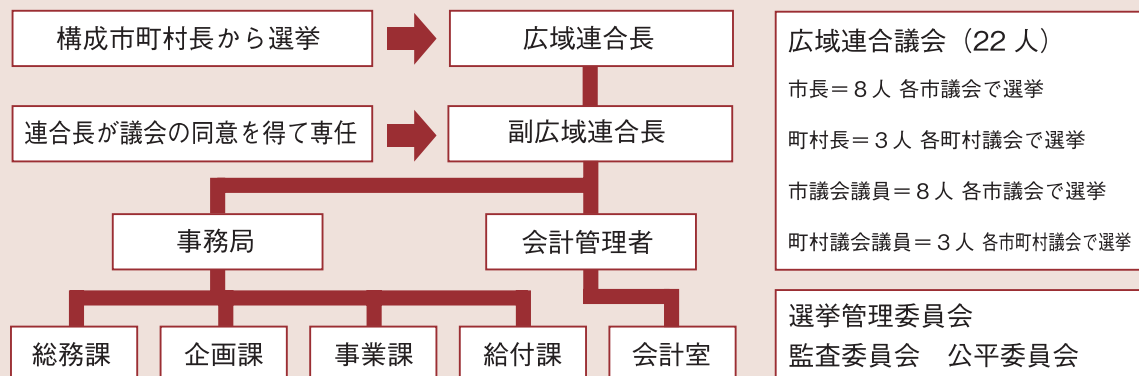
●茨城県後期高齢者医療広域連合の組織と市町村との連携

茨城県後期高齢者医療広域連合は、県内すべての市町村が加入し、後期高齢者医療に関する事務を広域にわたり処理するための「特別地方公共団体」です。茨城県後期高齢者医療広域連合は、後期高齢者医療制度全体の財政を運営していく組織です。後期高齢者の各種申請などの窓口取り扱いは、現在と同様に市町村が行います。

《各種申請などの窓口》



《広域連合の組織》



二宮尊徳ゆかりの市町村が一堂に会し、 筑西市で『報徳サミット』を開催します

二宮尊徳（1787～1856）は、栢山村（現在の神奈川県小田原市）に生まれ、江戸後期の天明・天保の大飢饉により疲弊したおよそ600の藩や村を、徹底した実践主義と農村改良策により復興させた農政家です。

筑西市においても、江戸末期の下館藩が天保7年の大飢饉などで疲弊のどん底に喘いでいた折、当時の家老たちが尊徳に救済の懇願をし、復興事業が次々と成功して下館藩は救われたという経緯があります。その足跡は今も市内に見られます。掉ヶ島地区には尊徳の設計による農家が建築され、嘉家佐和地区には記念碑が残されています。また、花田地区では、報徳仕法に使われた水車や榎などを見ることができます。

今、日本の社会は、政治・経済・社会、すべてにおいて大きな変革期

を迎えています。市町村ではこれらに対応した住民生活の向上、財政再建、地域の活性化に結びつく施策が強く求められ、また、行政課題の多様化・高度化のため、地方分権型社会による新しい行政運営も求められています。このような変革期においては、江戸時代に『至誠』『勤労』『分度』『推譲』等の教えで、多くの疲弊した農民や人びとを救った二宮尊徳の報徳仕法に学ぶ意義は大きいものと考えられます。

これからのまちづくりに必要な取り組み、住民と行政の役割、広域的な地域間の連携など、幅広い視点から意見交換を行い、『新しい時代を拓く豊かなまちづくり・ひとづくり』を報徳仕法から学ぶ、全国報徳サミット。今年は10月20日、筑西市を会場に、二宮尊徳ゆかりの市町村が全国から集い、開催します。

第13回全国報徳サミット筑西市大会

- ▼期日＝平成19年10月20日(土)
- ▼会場＝筑西市民会館大ホール
- ▼参加者＝約1,000人
- ▼内容＝基調講演、パネルディスカッション、大会宣言決議等
- ▼主催＝筑西市報徳サミット実行委員会
- ▼共催＝全国報徳研究市町村協議会、筑西市、筑西市教育委員会

二宮尊徳学習会のお知らせ

- ▼日時＝5月25日(金) 午後2時～
- ▼場所＝アルテリオ1階集会所
- ▼講師＝宮本朔夫氏
- ▼テーマ＝『筑西市における尊徳の仕法』
- ▼募集＝100人程度
- ▼費用＝無料
- ▼申込不要

※二宮尊徳学習会は、今後、各公民館で開催する予定です。詳細は随時、広報紙や市のホームページなどでお知らせします。

■問い合わせ 教育委員会文化課
TEL 22-0183

～報徳サミットの成功を願って～

渡辺良子さんが市に作品を寄贈



わたなべよしこ
渡辺良子さん
(大町)

タイプライターを使って絵を描く渡辺良子さんが、全国報徳サミットの成功を祈って『二宮金次郎像』を制作し、作品を市に寄贈してくださいました。生まれてまもなく脳性小児麻痺にかかり、車椅子で生活する渡辺さんは、タイプライターのキーを足でたたき、『タイプアート』を制作しています。作品は縦57cm、横37cmで、黒とオレンジの2色の『○』や『の』の字を重ね打ちし、58時間かけて制作した大作です。

